

事務事業名	屋外広告物法関係許認可事務				担当	建設部 都市計画課 計画係	
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8152	
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	屋外広告物法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4. 都市計画費	1. 都市計画総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	屋外広告物については、良好な景観形成や風致の維持のため、表示場所や方法及び管理などについて「栃木県屋外広告物条例」に基づき規制されている。 平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行う。						

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 25年度実績 「栃木県屋外広告物条例」に基づく許可事務     26年度計画 「栃木県屋外広告物条例」に基づく許可事務	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(見込)
	ア 新規許可	件	29	14	27	37	35
	イ 更新許可	件	60	74	80	67	65
	ウ 変更許可	件	2	1	0	0	0
	エ その他届出	件	23	22	15	23	20
	オ 除却事務	件	20	11	13	16	15
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 屋外広告物	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(見込)
	ア 新規許可	件	29	14	27	37	35
	イ 更新許可	件	60	74	80	67	65
	ウ 変更許可	件	2	1	0	0	0
	エ その他届出	件	23	22	15	23	20
	オ 除却事務	件	20	11	13	16	15
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 県条例に基づき規制することで、良好な景観や風致を維持する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(見込)
	ア 許可・届出総数	件	114	111	122	127	125
	イ 除却事務	件	20	11	13	16	15
	ウ						
	エ						
	オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(見込)
	ア 良好な市街地形成に関する満足の割合	%	88.3	79.1	81.0	81.5	
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移				単位	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	196	187	169	156	0
			事業費計 (A)	千円	196	187	169	156	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	720	720	720	720	0
			人件費計 (B)	千円	3,073	3,054	3,025	2,926	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	3,269	3,241	3,194	3,082	0

③この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	平成21年4月より「栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」に基づき屋外広告物法令に関する事務が市に権限委譲されたため、その事務を行うことになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	平成22年9月より市内企業のグループが屋外広告物ボランティアとして中村地区を中心に月1回見回り活動している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1 次評価の部      \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事業により、良好な景観や風致の維持が期待できる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市全体の一体的な景観形成は、行政のみが行うものである。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 県条例に基づく許可事務であるため。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 県条例に基づく許可事務であるため。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 県条例に基づく許可事務であるため。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県条例に基づく許可事務で、人件費を主に最小限の支出である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県条例に基づく許可事務で、最小の人件費で行っており、これ以上の削減の余地無し。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 県条例に準じた手数料のため、公正、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								